

平成 30 年 4 月 1 日

平成 30 年度初めにあたって

三重県弓道連盟  
会長 伊藤 徹

29 年度から三重県弓道連盟執行部が新体制となり、はや 1 年が経ちました。

昨年度は、待望の新三重武道館・三重武道館遠的射場が竣工しました。また、国民体育大会・全日本近的選手権大会・遠的選手権大会での活躍により全国優秀地連の目標達成（12 位）と記念すべき年になりました。

また、支部長会議及び役員会を開催し、支部長マニュアルの整備など情報の共有化を進めてまいりました。会員の皆様には、様々なご協力をいただき三重県弓道連盟事業は滞りなく終了しました。ここにお礼申し上げます。

さて、本年度は、2 年後の全日本勤労者弓道選手権大会、3 年後の三重国体に向けていよいよ正念場を迎える年になりました。

つきましては、三重県弓道連盟会員の皆様が一丸となり大会の成功に向けて決意を新たにするとともに、全面的なご協力をお願いする次第です。

なお、運営にあたっては、運営組織の構築を行うとともに、福井国体を視察し国体運営方法について理解していただく準備を進めています。

予算面では、特別繰越金を充当しても大幅に不足することが懸念されますので、やむをえず会費を見直すことになりました。どうか会員各位のご理解をお願いいたします。

さらに、昨年度同様競技力の向上についても会員の活躍を期待しています。昨年度は全国 12 位でしたが、この成績を維持するとともに、さらなる向上を図っていくことが三重県弓道連盟の活性化には必要なことであり、新遠的射場の利用拡大など種々の強化対策を考えています。

なお、弓道は、国体や競技だけではなく、

会員相互の親睦を図り、弓道の普及振興に努めながら、健康増進・精神衛生に役立つよう日頃の修練に励んでいただくことも大切なことです。

高齢化社会におけるシニア層の一層の活動・活躍は云うまでもありません。

しかし、青年層の会員増加・弓道経験者の発掘・弓道部卒業生の弓道継続対策など懸案事項も多くあります。

弓道経験者の発掘については、10 月に高校 OB・OG 大会を開催します。弓道再開への足掛かりとなればよいと考えています。会員でない方も結構です。見に来ていただくだけでも結構です。多くの方に声を掛けていただくようお願いします。

また、情報発信ツールとして、ホームページのリニューアルの検討を進めます。

最後に、30 年度三重県弓道連盟事業重点項目を別紙(次頁)としました。ご理解いただき、会員の皆様のご健康と弓道修練の発展を祈念して年度初めの挨拶とします。

平成 30 年 4 月 1 日

## 平成 30 年度三重県弓道連盟事業 重点項目

### 1. 安全第一

安全は、全てに優先する。

弓道での事故は、死亡につながる危険がある。絶対に事故を起こさない体制を確保する。

- (1) 安全指導講習会の実施
- (2) 各道場 及び 事業運営時の安全対策の確認
- (3) 熱中症対策・寒冷対策等の周知・指導・設備強化

### 2. 三弓連活動の活性化

各専門部事業計画の確実な実施と、会員の増加を図る。

- (1) 高校OB・OG弓道大会の実施
- (2) 高体連弓道部顧問とのコミュニケーションの醸成
- (3) 青年部活動強化
- (4) 伝達講習会の対象範囲拡大
- (5) 三弓連ホームページ リニューアル

### 3. 競技力向上

全弓連事業、優秀地連得点順位 15 位以内の維持（29 年度は 12 位）向上を図る。

- (1) 国体選手強化
- (2) 東海弓道射礼選手権大会・全国都道府県対抗弓道大会の選手強化

### 4. 三重国体準備

2021 年 三重国体成功に向けた準備を継続する。

- (1) 運営組織の構築
- (2) 福井国体視察（リハーサル・大会）
- (3) 勤労者大会を含め設営等について行政（名張市）との連携強化
- (4) 仮設道場・備品等の詳細検討・具体的な予算検討

### 5. 法令順守（コンプライアンス）

ドーピング・ハラスメント等の発生を防止する。

- (1) 競技会・講習会等での周知・徹底